



《発表記者会: 東北電力記者会、宮城県政記者会》

平成28年7月8日
国土交通省東北運輸局
東北観光推進機構



「東北観光親善大使」を再任命します！ ～東北楽天ゴールデンイーグルス～



東北運輸局及び東北観光推進機構は、7月11日付で「東北楽天ゴールデンイーグルス」を「東北観光親善大使」に再任命することとしましたのでお知らせいたします。

東北観光親善大使は、東北の自然、歴史、文化等を広く国内外に紹介することにより、東北における観光振興を効果的に推進することを目的として設置しているもので、これまでに「MONKEY MAJIK」(モンキーマジック)、「Rake」(レイク)、「東北楽天ゴールデンイーグルス」、「株式会社 劇団ニホンジンプロジェクト」を任命しています。(任期は2年)

東北楽天ゴールデンイーグルスは、東北観光親善大使として2014年から活動をし、東日本大震災からの復興に向けて、グラウンドの内外で東北への観光誘客の拡大に向け活躍していただきました。再任後は、復興を果たしつつある東北観光をさらに躍進させるため、「元気な東北」の発信強化とインバウンドも強く意識した活動を期待しています。

今後も東北観光親善大使と連携し様々なイベントや企画を通じて、東北を国内外にPRしていきます。

【東北観光親善大使の役割】

- 国内外に対する「元気な東北」情報発信
- 東北の認知度向上
- 海外との交流・連携
- 球場やボールパークを活用した誘客促進



※再任命につきましては任命式等を行いません。

《お問い合わせ先》
 東北運輸局観光部観光地域振興課
 鎌田 星 石山
 TEL 022-380-1001 / FAX 022-791-7538
 東北観光推進機構総務企画部
 佐藤
 TEL 022-721-1291 / FAX 022-721-1293

■プロフィール■

東北楽天ゴールデンイーグルス(以下、楽天イーグルス)は、2005年シーズンから新規参入した、東北6県を拠点とするプロ野球チームである。

2011年からは星野仙一監督が就任。就任1年目の3月11日に東日本大震災に見舞われたが、試合後に球場や街頭などで募金活動を行ったり、被災地域への訪問を行うなど、震災復興を願う活動や東北のファンに勇気を与える活動を行ってきた。4月2日のチャリティー試合では、嶋選手が「見せましょう、野球の底力を」と力強いスピーチを行った。

2013年には東北悲願のパ・リーグ優勝。読売ジャイアンツとの日本シリーズを制覇し、初の日本一の栄冠を手にした。優勝パレードは仙台市内中心部で行われ、約21万4千人のファンが集まり、「日本一を東北に！」を合言葉にチームとファンがひとつになって東北に感動と元気を与えた。

岩手県普代村出身の銀次選手など、東北に縁のある選手も多数所属。2016年から梨田昌孝監督を新たに迎えている。

■東北における地域貢献活動■

・東北ろっけん活動

2012年12月、東北の方々に愛されるチームに成長し、真の「東北の球団」を目指してスタート。東北の地域活性化のため、スポーツ振興及び青少年育成に貢献する活動を継続的に実施している。

主な活動内容として、2014年からは、東北6県の新小学1年生約7万人の子どもたちに、楽天イーグルスのキャップをプレゼントし、試合観戦に招待している他、楽天イーグルスの現役選手が小学校を訪問する「学校訪問」では、2015年11月には東北6県の小学校を訪れ、東北各地の子どもたちと触れ合った。また、「フレンドシップジャーニー」では、公式マスコットのクラッチくん・クラッチーナちゃんや東北ゴールデンエンジェルスが、東北各地の幼稚園・保育園・保育所を訪問。楽しくてすぐに覚えられる「イーグルぐるぐる体操」や応援歌に合わせて体を動かしたりなど楽しい時間を一緒に過ごし、たくさん子どもたちに元気を与えている。そのほかにも、元プロ野球選手が東北各地の小学校を訪問する「未来塾」、小中学生に野球の指導を行う「野球塾」などの活動に加え、東北各地のお祭りやイベントに選手やクラッチくんやクラッチーナちゃん・チアリーダー・職員等が参加し、一緒に活動を盛り上げそして楽しみ、東北各地の地域振興に貢献している。

・Tohoku Smile Project

2014年、東北に拠点を置くプロスポーツチームとして、東日本大震災の復興・再生のお手伝いを継続的に実施したいと考え、「スポーツの力で子どもたちを笑顔に」を合言葉に、「Tohoku Smile Project」を立ち上げました。第1弾では、福島県相馬市に「相馬子どもドーム」を建設するための募金活動を開始し、1.9億円を超えるご寄附をいただき2014年12月に完成、2016年3月末時点で1万人を越える多くの方々に利用されている。また、第2弾では、岩手県大槌町に「大槌子どもグリーンフィールド」(仮称)の建設をめざして募金活動を開始。2017年3月の完成を予定している。2016年5月からは、第3弾として「子どもスタジアム」の建設を目指して活動を行っている。